



This is our Communication on Progress  
in implementing the principles of the  
United Nations Global Compact.

We welcome feedback on its contents.



# ユー・エム・シー・エレクトロニクス株式会社

## Communication on Progress 2014年度

対象期間：2013年7月～2014年6月迄

## トップステйтメント

- ユー・エム・シー・グループは、電子部品実装のEMS企業(EMS: Electronics Manufacturing Service)で、民生用・産業用・車載用電子機器の基板設計、開発、製造、販売をグローバルに展開致しております。

- 連結売上高 : 2013年度 売上高 1,303億円、営業利益 17億円
- 全従業員数 : 10,745名 (2014年3月現在)

当社は、2010年7月にグローバル・コンパクト(以下GC)に加盟し、GC4分野10原則を支持して企業活動を進めております。

### ●これまでの取り組み

- ・当社は、GC4分野の一つである環境分野への取り組みとして、2002年に日本・中国にてISO14001を取得し、2008年にはベトナムでも同国際認証規格を取得。化学物質の削減、有鉛半田の削減等、世界水準の環境保全に取り組み続けています。
- ・また、労働分野への取り組みとして、中国では2002年 OHSAS18001(労働安全衛生マネジメントシステム)を取得。2012年12月 ISO26000ランドに基づき、CSR(corporate social responsibility)体制を構築する上で、2012年10月 ボランティアチームが出来ました。

雇用や環境において、調和のとれた地域発展に貢献すべく活動しております。

### ●来年度の活動

- ・環境分野では、節電による省エネルギー活動、廃棄物リサイクルの促進を図ります。
  - ・労働並びに人権分野では、生産性向上による労働時間短縮、職場環境の維持・改善を促進。従前からの定期的な近隣道路清掃活動を行う事で、コミュニティとのより良い関係を構築、維持継続致します。
- 来年度も、グローバル・コンパクトの理念に基づく活動を通じて、社会貢献に努めて参ります。

## 会社概要

<b>日本</b>	<p>社名 : ユー・エム・シー・エレクトロニクス株式会社          設立 : 1968年1月 資本金:10億9,400万円 [決算期:3月]          従業員 : 865名(国内) 代表取締役社長:内山 茂樹          所在地 : 埼玉県上尾市瓦葺721          拠点 : 本社、本社工場、上尾工場、宮崎工場、物流センター、Spiral Up営業所、VAS営業所、VCM営業所、UMCジャストインスタッフ(株)、(株)グリーン・システム</p>
<b>中国</b>	<p>社名 : UMC Electronics Hong Kong Limited [ 三和盛香港高科技有限公司 ]          設立 : 2000年6月 資本金: 38.0百万USD [決算期:3月]          従業員 : 6,673名 董事長:柏木亮二          所在地 : 香港新界葵昌路56號貿易之都2樓1C室          拠点 : 三和盛科技電子(深圳)有限公司、同 坂田分公司                    三和盛電子科技(東莞)有限公司、三和盛電子製品(東莞)有限公司</p>
<b>ベトナム</b>	<p>社名 : UMC Electronics Vietnam Limited          設立 : 2006年11月 資本金: 19.8百万USD [決算期:3月]          従業員 : <u>3,008名</u> 社長:鵜沢 健一          所在地 : Tan Truong Industrial Zone, Cam Giang Dist, Hai Duong Province, VIETNAM</p>
<b>タイ</b>	<p>社名 : UMC Electronics (Thailand) Limited          設立 : 2011年1月 資本金:780.0百万THB [決算期:3月]          従業員 : 156名 社長:高田 昭人          所在地 : TFD Industrial Estate , 1/23 Moo 5 Tambol, Tha Sa-an Amphar Bang Pakong Chachoengsao 24130, THAILAND</p>
<b>ドイツ</b>	<p>社名 : UMC Electronics Europe GmbH          設立 : 2013年9月 資本金:2.0百万ユーロ [決算期:3月]          従業員 : 4名 社長:星野 仁志          所在地 : Laim Landsberger Strasse 302 80687 München, Germany</p>

(従業員数は、2014年3月末時点)

## 1.人権分野に関する活動報告

本年度の活動目標・内容	結果・評価	来年度の活動目標・内容
<p>【全社】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■障害者雇用の促進</li> <li>■能力主義での人材登用 (性別・国籍・出身地域・民族を問わない。)</li> </ul>	<p>○ 本社工場1名(軽度) 宮崎工場1名(軽度) 新たに雇用。</p> <p>○ 従来より、公正な人材登用を実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■障害者雇用の計画的な採用活動を行い、障害者の雇用機会を増やしていく。</li> <li>■人材教育の充実により、更なる現地スタッフ登用の機会を増やす。</li> </ul>

## 2. 労働分野に関する活動報告(1/3)

本年度の活動目標・内容	結果・評価	来年度の活動目標・内容
<p>【全社】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■労働生産性が上がる職場環境を提供する為、労働時間の短縮を行い、従業員の心身の健康維持・増進を図る。</li> <li>■従業員の職場環境満足度向上を図る。</li> <li>■職場の安全衛生向上を図る。</li> <li>■職場のハラスメントを防止し、従業員が不必要なストレスを感じる事の無い職場環境構築を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 長時間労働者と面談を行い、職場環境改善を行う。</li> <li>○ 職場環境(例:暑さ/寒さ対策)や食事の改善に努める。</li> <li>○ 安全衛生委員会での活発な論議を通じて、安全衛生向上に努める。</li> <li>○ ハラスメント防止規程の周知徹底に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■残業時間管理及び健康管理の徹底を図り、労働生産性の向上と従業員の健康維持増進を図る。</li> <li>■5Sパトロール、意見箱などを通じ、職場環境改善提案活動の全社展開を推進し、職場環境満足度向上を図る。</li> <li>■安全衛生体制の強化と、安全衛生計画を充実させ、更なる安全衛生向上を図る。</li> <li>■リスクアセスメントを実施し、リスクの除去低減を行う事で、更なる快適な職場環境構築を図る。</li> </ul>

## 2. 労働分野に関する活動報告(2/3)

本年度の活動目標・内容	結果・評価	来年度の活動目標・内容
<p>【中国】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 労働関連の法令変更への対応を図る。</li> <li>■ 新労働法遵守(2008年1月から実施)を図る。</li> <li>■ 休日残業を中心とする労働時間の短縮化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 最低賃金変更(2014年2月～)に対応。</li> <li>○ 組織の規律遵守徹底に努める。</li> <li>○ SAPシステムを導入し、部材調達から工数計画の精緻化を図り、休日の生産活動を限定するよう努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 労働関連の法令遵守を維持継続する。</li> <li>■ 規律遵守徹底を維持継続する。</li> <li>■ グループ全体での情報共有化を図り、全体の作業効率を上げることで、労働時間の短縮を図る。</li> </ul>

## 2. 労働分野に関する活動報告(3/3)

本年度の活動目標・内容	結果・評価	来年度の活動目標・内容
<p><b>【ベトナム】</b></p> <p>■新労働法への対応 (2013年5月1日施行)</p> <p>■職場の安全衛生の向上を図る。</p> <p>■残業時間の短縮化を図る。</p> <p>■従業員の職場環境満足度向上を図る。</p>	<p>○ 社内制度の見直し ⇒ 新労働法に準ずる 社内規定作成</p> <p>○ 労働安全チームによ る定期巡回 労働安全衛生教育 ⇒ 従業員の労働安 全意識向上</p> <p>○ 残業データの定期的 な配布により無駄な残 業、残業の集中をなく す。計画残業を行う</p> <p>○ 意見箱、労働組合との 定例会議にて情報の 吸い上げ ⇒ 職場環境、食事、 福利厚生の改善</p>	<p>■労働関連の法令遵守を維持継続 する。</p> <p>■会社全体の安全衛生の意識向上 のための啓蒙・活動を継続する。</p> <p>■引き続き情報共有化を図り、 作業効率を上げ、労働時間の短縮 を図る。</p> <p>■従業員とのコミュニケーションを密 にして良好な労使関係を引き続き維 持する。</p>

### 3.環境分野に関する活動報告 (1/5)

本年度の活動目標・内容	結果・評価	来年度の活動目標・内容
<p>【全社】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■節電によるCO2削減活動の推進を図る。</li>   <li>■危険物管理の徹底を図る。</li>   <li>■廃棄物リサイクルの分別管理を図る。</li>   <li>■機密文書類破棄の廃棄削減</li>   <li>■地域美化運動の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各拠点にデマンドコントローラーを設置し、節電意識の向上に努める。</li> <li>○ 隔月で開催するEM(環境管理)委員会において、危険物管理を必須報告事項とし、危険物管理の意識向上に努める。</li> <li>○ 紙とダンボール等の分別管理に努める。</li> <li>○ 溶解処理による再資源化</li> <li>○ 全社員で、事業所周辺清掃に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■節電によるCO2削減活動を継続する。</li>   <li>■危険物保管庫の貯蔵量管理を徹底すると併に、有事の際の環境影響を最小限に留める訓練を行う。</li>   <li>■廃棄物リサイクル管理を継続強化する。リサイクルアイテムを増やし、ゼロエミッションに近付ける。</li>   <li>■今後も定期的に実施する。</li>   <li>■今後も定期的に実施する。</li> </ul>

### 3.環境に関する活動報告(2/5)

本年度の活動目標・内容	結果・評価	来年度の活動目標・内容
<p>【中国】</p> <p>■CO2削減活動の推進を図る。</p> <p>■節電省エネルギー</p> <p>1)AIR機に追加交換機、重油を使用せず、熱を利用してシャワー用のお湯を作る。</p> <p>2)生産の状況に応じて、空圧機(コンプレッサー)とN2発生機の稼動をコントロールする。</p> <p>3)冷媒で夜間に冷水を作り、昼に供給する。</p> <p>4)生活区の照明をLED灯に切り替える。</p>	<p>○ 2013年度 排気量 1071.9噸/売上 USD1M(前年比 ▲10%削減)</p> <p>○ 節約費用:RMB12万元/月(東莞工場)</p> <p>○ 節約可能費用: RMB4万元/月</p> <p>○ 節約可能費用: RMB6.6万元/月</p> <p>○ 電気代節約費用: RMB2.5万元/年</p>	<p>■活動を継続強化する。</p> <p>■来年度も継続して実施する。</p> <p>■来年度も継続して実施する。</p> <p>■来年度も継続して実施する。</p> <p>■来年度も継続して実施する。</p>

### 3.環境に関する活動報告(3/5)

本年度の活動目標・内容	結果・評価	来年度の活動目標・内容
5)リフローの共用化。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 電気代節約費用: RMB2.4万元/月</li> </ul>	■来年度も継続実施する。
6)塗装乾燥機の共用化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 電気代節約費用: RMB4.8万元/月</li> </ul>	■来年度も継続して実施する。
7)生産現場と梱包エリアの間に自動扉を設置して冷気の流出を防止。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 電気代節約費用: RMB8.8万元/年</li> </ul>	■来年度も継続して実施する。

### 3.環境に関する活動報告(4/5)

本年度の活動目標・内容	結果・評価	来年度の活動目標・内容
<p>■環境改善</p> <p>1) 各フロアの危険品倉庫に目洗い機械を設置する。</p> <p>2) コーティング工程において、コーティング装置を導入し、自動化になり、作業者の作業環境を改善した。</p>	<p>○ 危険品を目に入れる時、緊急対応できる。</p> <p>○ 作業者の健康と安全の確保が出来た。</p>	<p>■来年度も継続して実施する。</p> <p>■来年度も継続して実施する。</p>

### 3.環境に関する活動報告(5/5)

本年度の活動目標・内容	結果・評価	来年度の活動目標・内容
<p>【ベトナム】</p> <p>■エネルギー資源を節約する ・生産数量に対する電気使用量と水使用量を前年比10%削減する</p>	<p>○ 2013年度電気使用量 0.38KWh/ pcs 2013年度水使用量 0.0017m<sup>3</sup>/pcs</p>	<p>■継続して活動 2014年度目標 電気使用量 ⇒ 0.34kwh/pcs 水使用量 ⇒ 0.0015m<sup>3</sup>/pcs</p>
<p>■環境保護のため、化学物質、廃棄物の管理をする ・生産数量に対して化学物質使用量・廃棄物を昨年度比10%削減する。</p>	<p>○ 2013年度 化学物質使用量 0.003Lit/pcs ゴミ廃棄量 0.005kg/pcs</p>	<p>■継続して活動 2014年度目標 化学物質使用量 ⇒ 0.0027Lit/pcs ゴミ廃棄量 ⇒ 0.0045 kg/pcs</p>
<p>■法律に従い、排水、排気、職場環境の整備を行う</p>	<p>○ 法律を100%遵守</p>	<p>■継続して活動 法律を遵守する</p>
<p>■顧客の要求、法律に従い、適切な化学物質を使用する</p>	<p>○ 法律を100%遵守</p>	<p>■継続して活動 法律を遵守する</p>

## 4.腐敗防止分野に関する活動報告

本年度の活動目標・内容	結果・評価	来年度の活動目標・内容
<p>【全社】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■反社会的勢力対応規程の周知</li> </ul>	<p>○ 反社会勢力との関係遮断に関する規定を制定した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■入社時教育にて、反社会的勢力対応規程の周知を行う。</li> <li>■同じく、入社時教育にて金品の授受に係わるモラル、及び違反者発生時の断固たる処置について教育を行う。</li> </ul>
<p>このコミュニケーション・オン・プログレスの報告内容をどのようにステークホルダーに伝えますか。</p>		
<p>自社のWEBサイトに掲載する。</p>		

2014年7月1日

ユー・エム・シー・エレクトロニクス株式会社  
〒362-0022 埼玉県上尾市瓦葺721

代表取締役社長(CEO)

